

2012年3月20日

WG 設置申請書

作成者：

1. 名称 英文名称は Sub Committee を付記	建築・地域・都市におけるエネルギー 需給の再考WG	英文 名称	Sub-Committee on Energy Strategies for Building, Area and Urban after March 11																																																																																
2. 所属本委員会 (所属運営委員会)	巨大災害の軽減と回復力の強いまちづくり特別調査委員会																																																																																		
3. 設置期間	2012年 4月 ～ 2014年 3月																																																																																		
4. 設置目的	<p>(具体的な目標)</p> <p>本 WG では、巨大災害時とその回復後のエネルギー需給に貢献できる環境工学分野の知見の取りまとめを行う。具体的には以下の項目の検討を行う。叢書の刊行を目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフスタイルのあり方に関して ・節電に関する知見の収集と対策 ・非常時の環境要求水準 ・都市のレジリエンス ・スマートハウス、スマートコミュニティ ・仮設住宅の環境改善提言 など 																																																																																		
5. 委員会の位置付け	<p>(学会に設置する必要性、緊急性、新規制及び委員会の性格)</p> <p>東日本大震災により福島第一原子力発電所の事故を経験した。当たり前のように供給されていた電力需給に問題が生じた。日本において住宅・建築分野は 4 割近いエネルギーを消費しており、省エネルギーや再生可能エネルギーの利用など建築学会が果たせる割合は大きい。本 WG は環境という側面から学会に貢献が可能である。また、東京などの大都市におけるエネルギー問題を検討することは極めて重要である。</p>																																																																																		
6. 委員会の構成 (確定している委員予定者名簿を記載のこと。必ず会員名簿を記入すること)	<p>(委員構成の考え方、分野別構成、地域性、公募制等)</p> <p>環境工学委員会において東日本大震災に関する研究や活動で中心的な役割を果たしている委員を中心として構成した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>会員番号</th> <th>役職</th> <th>氏名</th> <th>勤務先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>8204022</td><td>主査</td><td>田辺 新一</td><td>早稲田大学</td></tr> <tr><td>2</td><td>8505024</td><td>幹事</td><td>村上 公哉</td><td>芝浦工業大学</td></tr> <tr><td>3</td><td>9714012</td><td>委員</td><td>望月 悦子</td><td>千葉工業大学</td></tr> <tr><td>4</td><td>9313557</td><td>〃</td><td>吉澤 望</td><td>東京理科大学</td></tr> <tr><td>5</td><td>7610547</td><td>〃</td><td>宿谷 昌則</td><td>東京都市大学</td></tr> <tr><td>6</td><td>8708521</td><td>〃</td><td>岩田 利枝</td><td>東海大学</td></tr> <tr><td>7</td><td>9004750</td><td>〃</td><td>柳 宇</td><td>工学院大学</td></tr> <tr><td>8</td><td>9907186</td><td>〃</td><td>本郷 智大</td><td>山形県立産業技術短期大学</td></tr> <tr><td>9</td><td>8310158</td><td>〃</td><td>鈴木 大隆</td><td>北総研</td></tr> <tr><td>10</td><td>9617082</td><td>〃</td><td>高井 啓明</td><td>竹中工務店</td></tr> <tr><td>11</td><td>7905146</td><td>〃</td><td>奥宮 正哉</td><td>名古屋大学</td></tr> <tr><td>12</td><td>8703547</td><td>〃</td><td>下田 吉之</td><td>大阪大学</td></tr> <tr><td>13</td><td>9724075</td><td>〃</td><td>田中 貴宏</td><td>広島大学</td></tr> <tr><td>14</td><td>8205418</td><td>〃</td><td>成田 健一</td><td>日本工業大学</td></tr> <tr><td>15</td><td>0029363</td><td>〃</td><td>増田 幸宏</td><td>豊橋技術科学大学</td></tr> </tbody> </table>			No	会員番号	役職	氏名	勤務先	1	8204022	主査	田辺 新一	早稲田大学	2	8505024	幹事	村上 公哉	芝浦工業大学	3	9714012	委員	望月 悦子	千葉工業大学	4	9313557	〃	吉澤 望	東京理科大学	5	7610547	〃	宿谷 昌則	東京都市大学	6	8708521	〃	岩田 利枝	東海大学	7	9004750	〃	柳 宇	工学院大学	8	9907186	〃	本郷 智大	山形県立産業技術短期大学	9	8310158	〃	鈴木 大隆	北総研	10	9617082	〃	高井 啓明	竹中工務店	11	7905146	〃	奥宮 正哉	名古屋大学	12	8703547	〃	下田 吉之	大阪大学	13	9724075	〃	田中 貴宏	広島大学	14	8205418	〃	成田 健一	日本工業大学	15	0029363	〃	増田 幸宏	豊橋技術科学大学
No	会員番号	役職	氏名	勤務先																																																																															
1	8204022	主査	田辺 新一	早稲田大学																																																																															
2	8505024	幹事	村上 公哉	芝浦工業大学																																																																															
3	9714012	委員	望月 悦子	千葉工業大学																																																																															
4	9313557	〃	吉澤 望	東京理科大学																																																																															
5	7610547	〃	宿谷 昌則	東京都市大学																																																																															
6	8708521	〃	岩田 利枝	東海大学																																																																															
7	9004750	〃	柳 宇	工学院大学																																																																															
8	9907186	〃	本郷 智大	山形県立産業技術短期大学																																																																															
9	8310158	〃	鈴木 大隆	北総研																																																																															
10	9617082	〃	高井 啓明	竹中工務店																																																																															
11	7905146	〃	奥宮 正哉	名古屋大学																																																																															
12	8703547	〃	下田 吉之	大阪大学																																																																															
13	9724075	〃	田中 貴宏	広島大学																																																																															
14	8205418	〃	成田 健一	日本工業大学																																																																															
15	0029363	〃	増田 幸宏	豊橋技術科学大学																																																																															

7. 活 動 計 画	<p>(活動の具体的方法、内容)</p> <p>初年度：環境工学委員会に設置されている、震災対応住宅・建築環境WG（主査：田辺新一）、同・都市環境WG（主査：村上公哉）と連携してエネルギー需給逼迫に貢献できる項目と具体的な対策案に関して検討を行う。また、研究懇談会を開催する。節電対策に関する具体的事例を収集する</p> <p>2年度：環境工学から提案を具体的に準備する。環境工学委員会と連携してシンポジウムを開催する。叢書の刊行に向けて、具体的な提案、提言に関して取りまとめを行う。</p> <p>WGに関しては環境工学委員会と密に連絡を行う。震災対応WG、学会二次提言などの活動と齟齬がないように注意する。様々な活動が集約されるように活動を行う。</p> <p>環境工学委員長（佐土原聡）もオブザーバーとしてWGに参加する。</p>		
8. 期待される成果と公表方法	<p>(内容と公表形態)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 環境工学委員会と連携したシンポジウムの開催 2) 大会研究協議会、懇談会の共催 3) ホームページにおける検討結果の公表 4) 叢書の刊行 		
<p>9. 設置を予定するWG</p> <p>英文名称は Working Group を付記してください。 (WG がなければ記載不要。WG が2つ以上ある場合はこの欄を追加してそれぞれ記載すること。必要なら各WGごとに小委員会設置申請書と同様の書式のものを添付する)</p>	名称：	英文名称	
	目的：		
期間： 20 年 月 ～ 20 年 月			

注1) 各項目に関して提示された事項に注目して記述してください。

注2) 合同小委員会、研究会を設置する場合にもこの書式を準用してください。